

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style

特別版

2024 06

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、
仙台、福岡、広島にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2024 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



どんなに酷い悪路もスタイリッシュに走破。
ラグジュアリーSUV時代を予見した
ランドローバー「レンジローバー」の54年。

市街地では買い物がてら軽いクルージングを楽しむ、郊外ではワインディングを越えてグランピング場へ。ここまででよいのであれば、多くのブランドの多くの車種にも可能だ。だが、都心ではフォーマルな装いで三つ星ホテルの車寄せに横付けし、街を出たら雨上がりの悪路で泥を蹴散らしながら爆走せよ……と言われたらどうだろうか。ここまで極端な振幅を当然のようにこなすどころか、どちらのシーンでもそれぞれ用に造られたかのように振る舞える車があるとすれば、やはりこのブランドだろう。

英国のランドローバーは、世界でも最高峰に位置する高級

SUVブランドのひとつだ。長く四輪駆動を専門としており、見目麗しのラグジュアリーカーと泥んこ上等のクロスカントリーカーを一台で兼ねてしまつフラッグシップ「レンジローバー」の歴史は1970年にまで遡る。写真の初代モデルは世界初のフルタイム4WDによるヘビーデューティー車として発売されたのだが、オフロード仕様にも関わらず高級セダンのようにスタイリッシュなデザインとクラフトマンシップに溢れるインテリアは世界のセレブを魅了。まさに現代のラグジュアリーSUV時代を予見するかのような先駆者となった。

次世代テレインレスボンスシステムやオールホイールステアリングなど多数のトピックを内包する現行モデルは、レンジローバーとしては第5世代にあたる。PHEVやMHEVのほか、今後はフルEVモデルも登場予定だ。さらに、2005年以降はラインナップを拡大しており、走行性能を徹底的に磨き上げた「レンジローバースポーツ」のほか、ミドルレンジの「レンジローバーヴェラール」とコンパクトSUVの「レンジローバーイヴォーク」の計4車種でファミリーを構成。世界のSUV市場で大きな存在感を示している。

車種ごとに2025年モデルの受注も開始するなど、再び活気づくレンジローバー。今回はこの世界的なラグジュアリーSUVの特集号として、その魅力を駆け足で眺めてみたい。

My Favorite Life Style



RANGE ROVER VELAR 利便性と快適性を極めたミドルレンジの次世代SUV

2017年に登場したファミリー最新のサブブランドであるレンジローパーヴェエールは、名前からして特別な意味が込められている。ヴェエールとは、実は初代レンジローパーのプロトタイプのコードネームなのだ。並々ならぬ決意を感じるネーミングだが、翌年にはワールドカーアワードに選ばれ、ザ・イヤールにも輝くなどデビューと同時に「特別な車」であることを証明した。

レンジローパーヴェエールは、位置づけとしてはパフォーマンス最優先のレンジローパースポーツとコンパクトなクーペスタイルのレンジローパーイヴォークのちょうど中間にあたる。当初は限定車を含めて非常に広いラインナップが用意されていたが、2025年モデルを含めて近年は4グレードに収束。空力特性を向上する二体式のリアスポイラーや、箱押しをはじめとする多彩なフィニッシュを施した芸術的なフロントグリル、カットガラスのような輝きを放つグネチャードSL付きのピクセルLEDヘッドライトなど、圧倒的な美観が特徴。また、普段は格納されていて使用時にせり上がる人気のデフロアブルドアハンドルも、この車種で初めて採用されたものだ。

キーオフに反応し自動的にロックと解除が行われるウォークアウェイロッキング&アパークロックシステムや、電動調整エアリングコラムの標準装備など、最新モデルでは主に利便性向上に主眼が置かれている。レンジローパーファミリーのミドルレンジを担う次世代モデルは、何よりも快適なドライブングを求めるドライバーにおすすだ。

RANGE ROVER ワイルドでエレガント、王室も認めた英国の誇り

2013年にジョージ王子が誕生した際、ウィリアム王子(現皇太子)の愛車として世界中で注目された英国が誇る名車、レンジローパー。数々のロイヤルワラントに輝き、世界で初めてルーブル美術館に展示された芸術性にも惚れ惚れするが、その真価はステアリングを握つてこそ発揮する。高速道路では余裕たうぶりにクルージングを楽しむ、めかるみ雪道も砂漠でさえもお構いなしの走破性は、元祖ラグジュアリーSUVと今も讃えられる初代モデルからの伝統だ。

最新モデルでは、4種類のパワートレインがすべてハイブリッド化された。お馴染みのクラムシエルボンネットやフローティングルーフ、途切れないウエストラインなどの伝統を継ぐと同時に、普段は収納されてドアパネルとフラット化するデフロアブルドアハンドルなど、近年のレンジローパーを象徴するフラッシュユーフェン化がさらに強力に推進されている。また、点灯するまではブラックアウトしてロコ入りのパッと体化するオールランプなども見どころなので、試乗時はリアまでくまなく鑑賞したい。さらに、ラインナップにはロングホイールベースモデルやレンジローパー初の3列7人乗りシートも追加。すべてのコントロール機能をタッチスクリーンに集約した多彩な安全機能と「ネクストッドサービス」にも注目を。

悪路を爆走するアウトドア派と、インテリジェントに街乗りしたいシティ派の両者から有力候補として捉えられる車など、そう多くはない。今後はフル電動モデルの投入も控えているので、しばらく目が離せない。



RANGE ROVER EVOQUE 日本でも人気の高いカリスマ的コンパクトSUV

2011年のデビューと同時に大ヒット車種の仲間入りを果たしたレンジローパーイヴォークは、そのままコンパクトな都市型SUVのカリスマとなった。取り回しのしやすいサイズながらレンジローパーらしいオフロードの走破性とクラリアスを備え、その日常的な使いやすさから日本でも特に人気が高い。

現行で第2世代となるレンジローパーイヴォークは、クーパースタイルのフォルムが特徴だ。傾斜を強めたフロントガラスから後方へと下降するルーフラインと流れるようなウエストラインが独特のプロポーションを描き、力強いシヨルターラインとホイールアーチ、大径タイヤが躍動的なスタイルを主張。また、現行モデルではフロントグリルやヘッドライトとテールライトのデザインもフラッシュアップ。シンプル&ミマルに磨きがかかったインテリアとともに、さらにモダンにアップデートされている。

特筆すべきは安全性能を最優先する設計思想で、事故防止のための機能の数々を標準装備。同社究の革新機能も多く、たとえば前輪のすぐ前方エリアの映像をタッチスクリーンに表示してフロント下80度の視覚を確保するクリアサイトグラウンドビューはレンジローパーイヴォークで世界初採用されたものだ。

現在4車種のレンジローパーファミリーでは、最も日常に身近なライン。試乗の際は、「前夜に大雪に見舞われた冬の朝」をシミュレーションし、路面の状態が悪い都心の住宅地でこのコンパクトSUVがどう振る舞うかを想像しながら走るとよいだろう。

RANGE ROVER SPORT オンロードのパフォーマンスを重視したスポーツSUV

市街地でのスマートさと、悪路でのパワフルさ。両極端な性格を併せ持つレンジローパーだが、実はもうひとつの顔がある。それはSUVとは思えないオンロードでのパフォーマンスだ。

レンジローパースポーツは、レンジローパーのDNAを受け継ぎつつ、よりスポーティにチューンされたハイパフォーマンスモデルと解釈すればよいだろう。第3世代となる2024年モデルでは、革新的なアーキテクチャーやシャシーコントロールシステムなどの最新テクノロジーを結集されている。ナビデータをもとに道路状況に最適な設定を自動選択するダイナミックエラスパベンションを標準装備し、スリッチャブルボリュームエラスプリングにより高い俊敏性に優れた応答性を兼ね備えたハンドリングを実現。あらゆるシーンで最適な走行性を引き出す先進のトラクションコントロールが、快適で刺激的なドライブングに集中できる環境を作り出してくれる。

ハイブリッド化されたパワートレインは、種類とラインナップが拡大。特別限定車も(即売ながら)リリースされており、フロント史上でも最速とされるレンジローパースポーツSVに至っては最高出力635馬力、最高時速200kmというサキツ仕様。そこまで行かずとも、並のスポーツカーを押ししのける勢いの走りの遺伝子は、各グレードで十分に堪能できるはずだ。

オールアルミニウムのモノコックボディに短めのオーバーハング、傾斜を強めたフロントウインドウ、大口径のタイヤホイール。試乗時は、走りに圧倒される前にその美観も味わっておきたい。

レンジローバーの最新情報は、最寄りのショールームで。



ランドローバー世田谷

東京都世田谷区玉川台1-9-5

TEL.03-5717-6511

営業時間／10:00～18:00 定休日／火曜・水曜

<https://retailers.landrover.co.jp/setagaya>



ランドローバー目黒

東京都目黒区中根1-24-13

TEL.03-6421-1900

営業時間／10:00～18:00 定休日／火曜・水曜

<https://retailers.landrover.co.jp/meguro>



ランドローバー横浜

神奈川県横浜市西区みなとみらい4-8-1

TEL.045-264-4600

営業時間／10:00～18:30 定休日／月曜・火曜

<https://retailers.landrover.co.jp/yokohama>



ランドローバー柏

千葉県柏市弥生町8-51

TEL.04-7166-5500

営業時間／10:00～18:00 定休日／月曜・火曜

<https://retailers.landrover.co.jp/kashiwa>



ランドローバー東京ベイ有明

東京都江東区有明3-7-3

TEL.03-3529-0211

営業時間／10:00～18:00 定休日／火曜・水曜

<https://retailers.landrover.co.jp/tokyo-bay-ariake>

ランドローバー水戸

茨城県水戸市大塚町 1309-12

TEL.029-246-5511

営業時間／10:00～18:00 定休日／月曜・火曜

<https://retailers.landrover.co.jp/mito>

ランドローバー杉並

東京都杉並区宮前5-18-1

TEL.03-5941-5016

営業時間／10:00～18:00 定休日／火曜・水曜

<https://retailers.landrover.co.jp/suginami>

ランドローバー宇都宮

栃木県宇都宮市茂原1-2-12

TEL.028-666-4144

営業時間／10:00～18:00 定休日／月曜・火曜

<https://retailers.landrover.co.jp/utsunomiya>

英国のゲイドンに建設したアドバンストプロダクトクリエイションセンターを拠点に、「自動化」「コネクテッド」「電動化」「シェアリング」の研究を進めるランドローバー。ゼロエミッションや事故・渋滞ゼロを掲げ、イノベーターな車づくりを展開している。

ご紹介した4車種では、今年はレンジローバーのフルEVモデルの登場も予定。開発では史上最多の特許申請を行ったことなどで、最新情報・試乗予約は最寄りのショールームにて。

ビズスタ特典

ご成約された方には保証期間を1年延長します。

※来場の際に「ビズスタを見た」とお伝えください。
※有効期限 2024年6月30日まで

BCJapan株式会社

<https://bcj-setagaya.jp/>



ミッドランズ株式会社

<https://www.midlands-yokohama.jp/>

